

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和(元)年度 タブレットPC、学習者用デジタル教科書(マイ黒板機能)を使用した内容理解
授業について	教科名等	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	やまなし・クラムボンとは
	授業の目標	自分の記述しやすい方法を選んで、自分の考えと友達の考えを共有する。
	学力の3要素	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input checked="" type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (6)年 (102)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input checked="" type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input checked="" type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input checked="" type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input checked="" type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 漢字の書字・識字に困難を抱えている。書字や内容理解に時間を要するため、他の児童と同じ活動をする時間が足りなくなってしまう、その後の学習の内容に参加できないことがある。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input checked="" type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援) 登場人物について整理し、内容理解を深める。児童は登場人物の心情変化が気になりつつも「クラムボン」とは何かについて関心を持ち、それぞれの考えを共有することになった。対象の児童は、内容理解のために学習者用デジタル教科書の音声読み上げ機能で内容を把握した上で、マイ黒板機能を使い、本文中の文章を選択して抜き取るなどして、自分の考えをまとめた。他の児童の考えを共有したり、比較したりするため、Microsoft Teamsを用いて、情報を共有した。自分の考えに対して寄せられた質問への答え等のテキストをタブレットからインプットするので、自分のペースで他の児童と情報交換しやすい状況が生まれる。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	PCタブレット スタイラスペン(タッチペン) 学習者用デジタル教科書(光村図書出版) Microsoft Teams
授業展開	授業展開・支援の手立て	学習者用デジタル教科書の本文を引用しながら(指定したところがワンタッチで貼り付けできる)、登場人物の心情変化場面についてデジタルノート(マイ黒板)にまとめた。まとめたノートを画像にして、Teams(グループチャットアプリ)に投稿する。それぞれが投稿したノートについて、他の児童が質問や気づいたことを投稿し合った。他の児童からのコメントを見て、デジタルノートに加筆修正を加えながら心情変化について考えを深めた。 
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	学習者用デジタル教科書のマイ黒板機能を使い、本文中から文章を抜き出してノートを作成していた。クラムボンについて、自分の考えをまとめたが、まとめを読んだ他の児童から、教科書本文の内容から前後していることや読んだ解釈などから指摘を受けた。そのことがきっかけで文章を読み直し、考えを深めていくことができた。友達に何を質問されたり、言われたのかは、文字として残っているので、自分のノートを完成する際に確認しながら書き、他の児童と同じ時間内に活動することができた。